

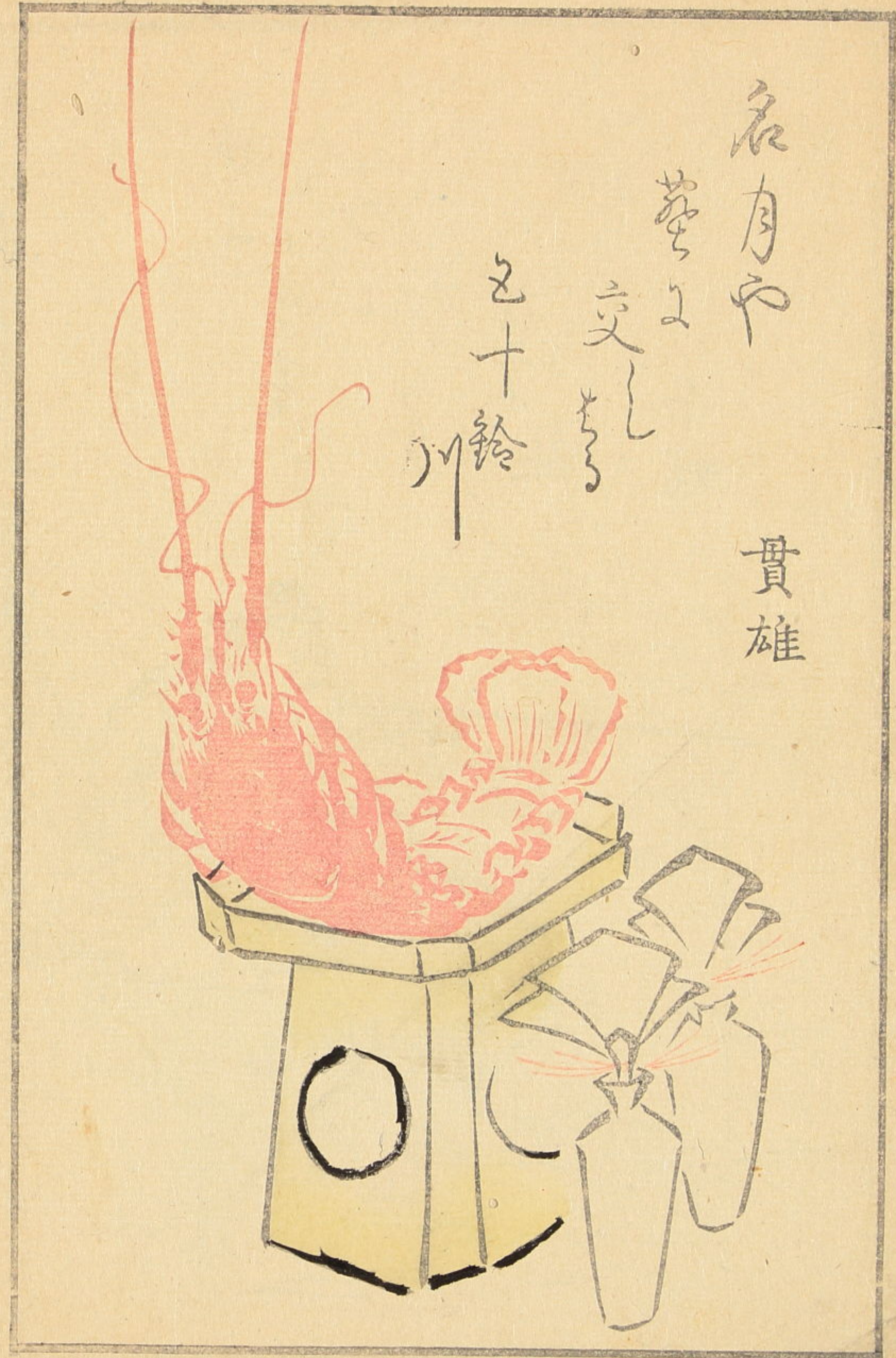


序

雪をたぬむらさきを月をまきしむらさきし
らむらさきをたぬむらさきをたぬむらさき
むらさきをたぬむらさきをたぬむらさき
むらさきをたぬむらさきをたぬむらさき

了蓮の龍狼を編む

し同士のあそび





名月也

信

記

生殿

嘆

升雄



月之輝

光

あま

為茶島

亀洞

生水



辰も
磯色
はるの
月



小督の
まよひ
月
角



名月戸松花

しるし 法之浮

巴水



新巻を
綾子

月
か
し

須六の

月

子鳳



名月也
 良甫
 花も
 霞も
 川の面
 海草
 明月
 曇く
 撮
 全



名月也
 花も
 標
 冷
 巴
 汝



名月

柳

あはれ
あはれ

一糸



名月

けさ

浪

生

亀友





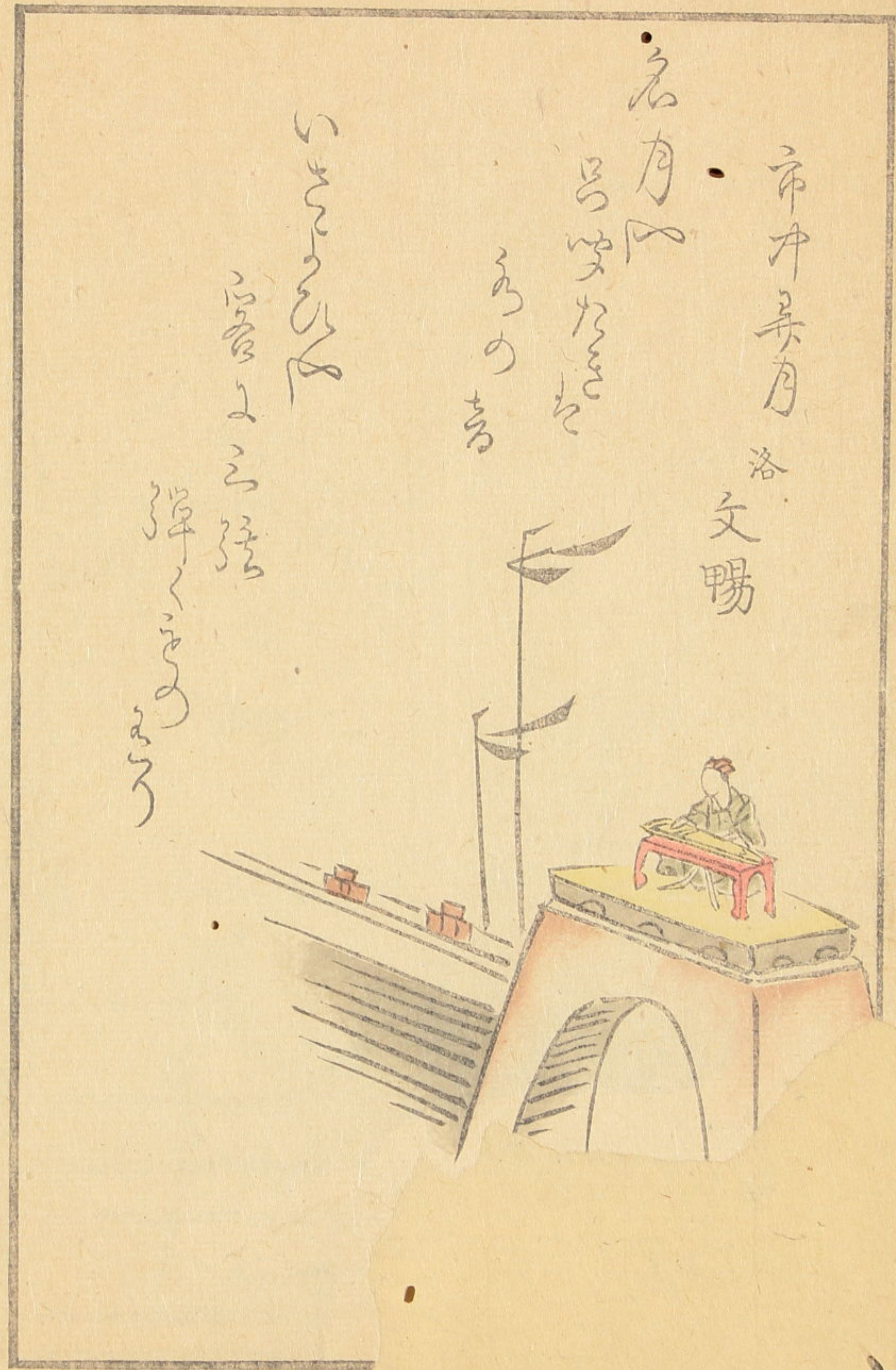


新法
 春の
 水
 平世
 巴州



春
 水
 春一







師山

漕く船よ
 月動して
 月見え
 ま



漁人の影 猿の影 月をさす

又をさす

秋景中

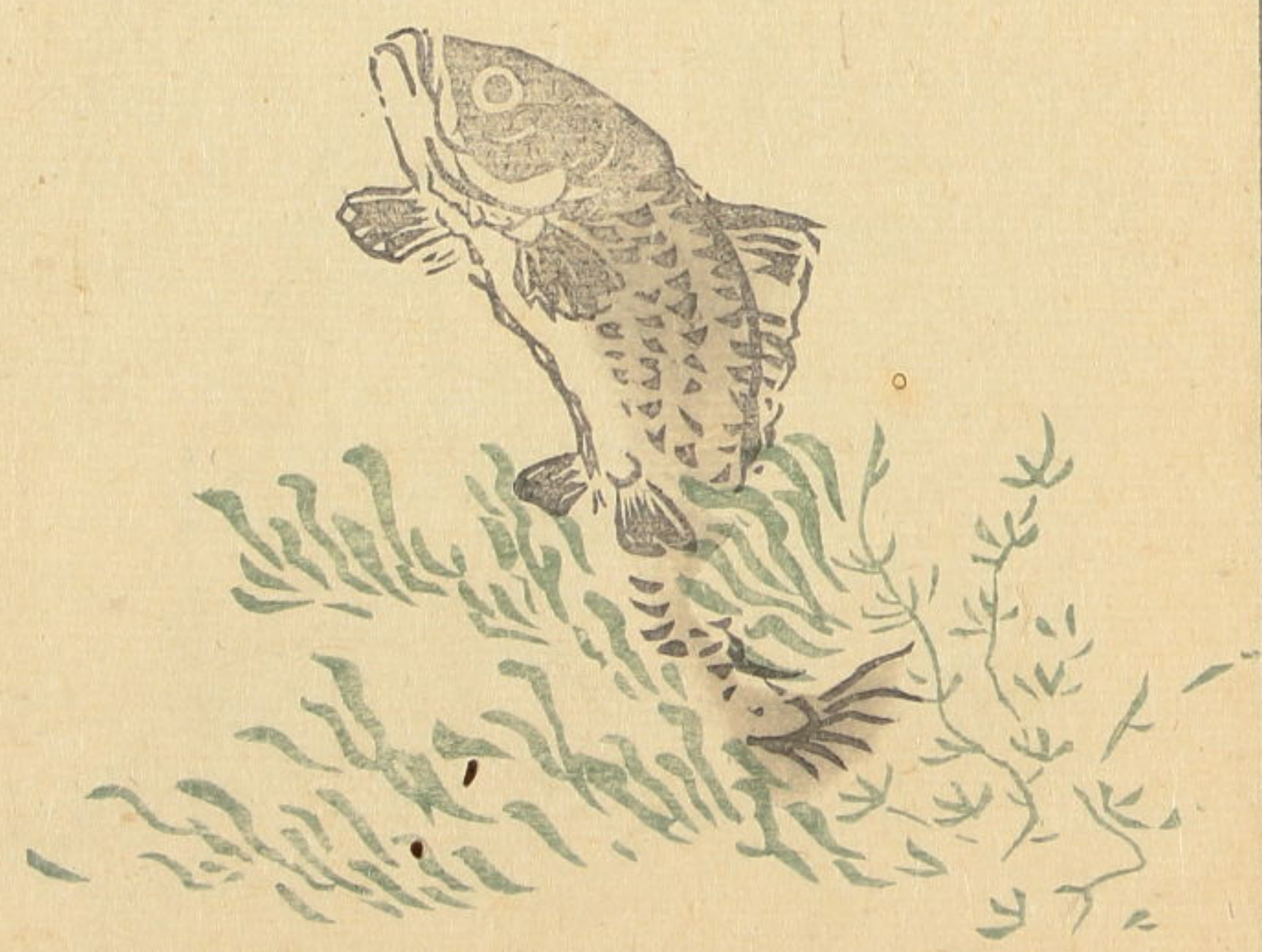
長〜

水あり

秋景

全

引綱の
 志
 静の
 深の
 文鳥



石有也
 清水
 うつ
 世秋の
 家
 晋柵







松林の

屋

三日月

水の月

九海
鈍齋



三日月

う

有

うみ比

羽貫

森

周仙

名有
一人よきれを

浪のき

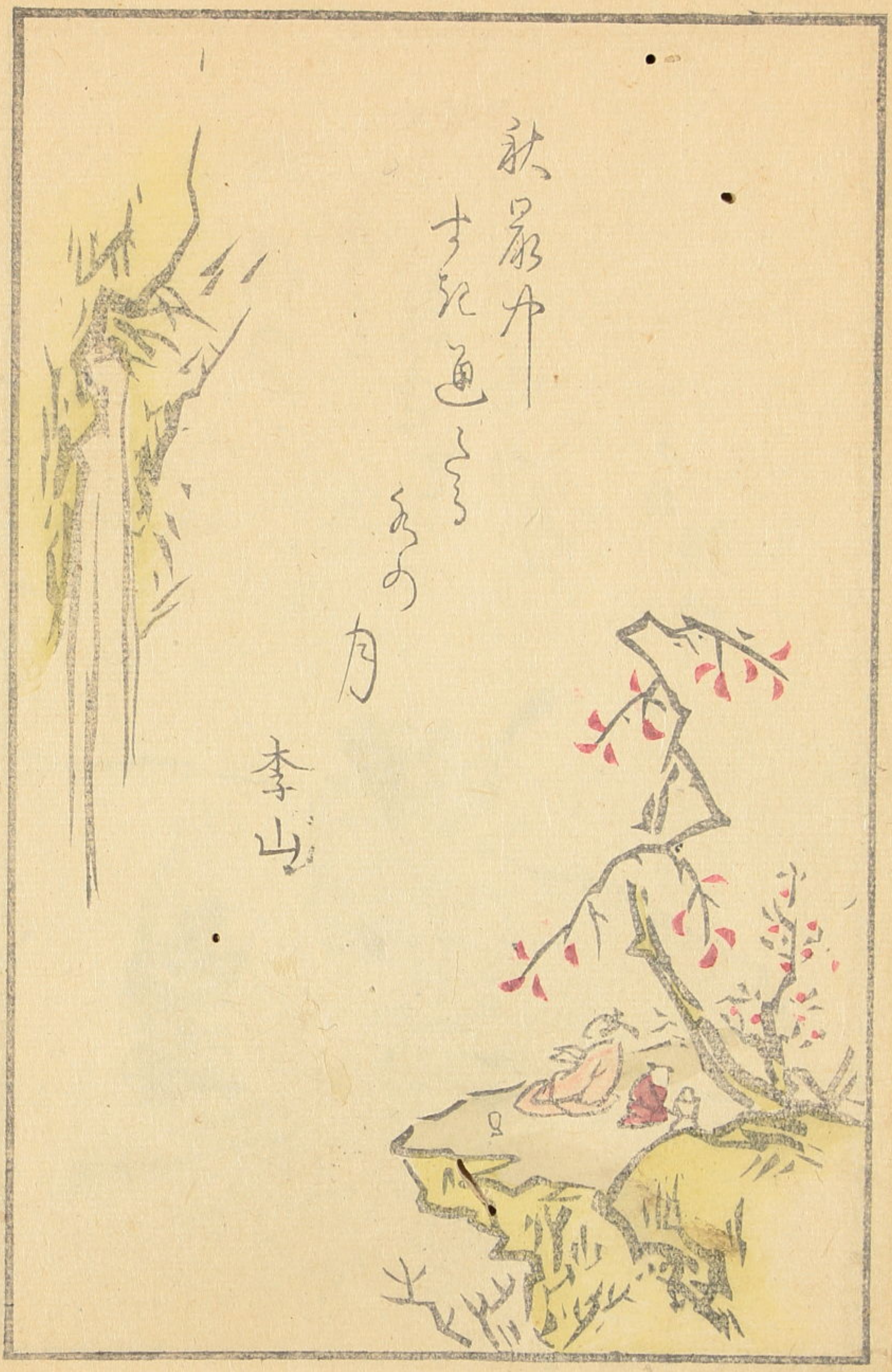




豊山
 月影中
 舟の通るに

月影中

豊山



秋影中
 舟の通るに

舟の
 月

李山



附録

後月



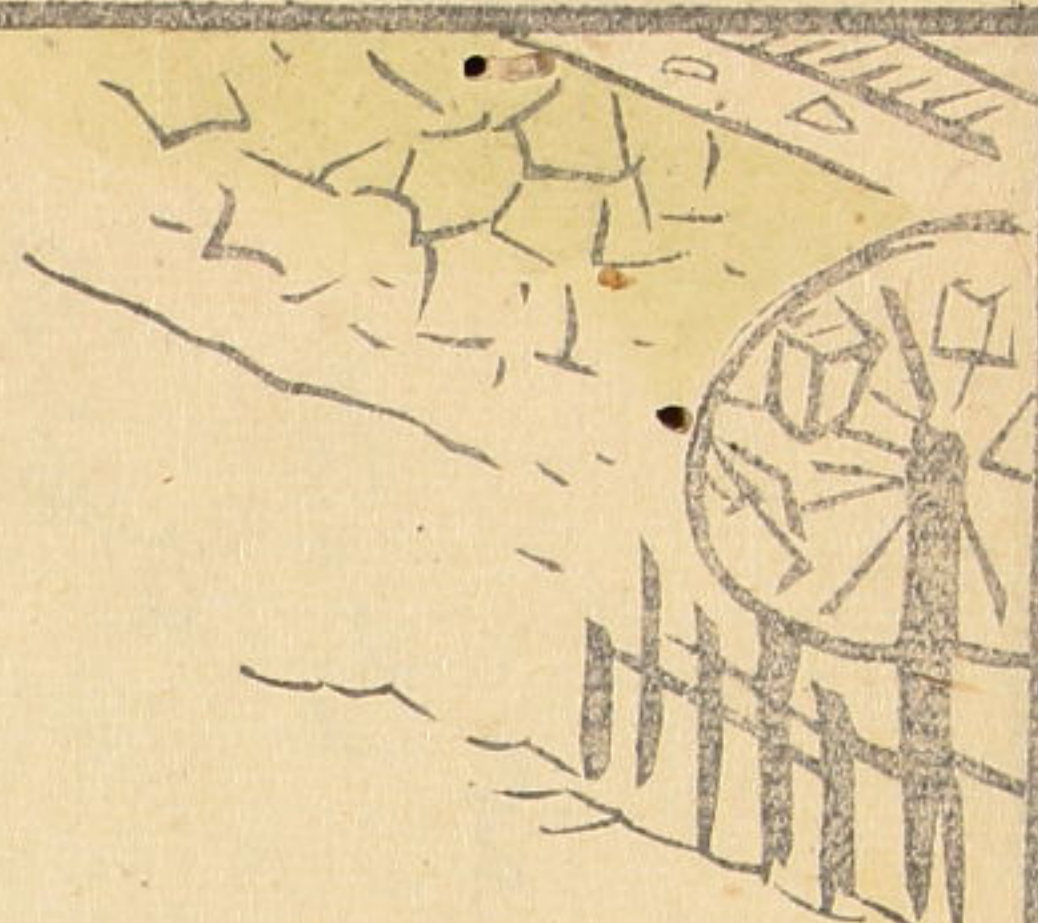
雲州廣瀬宮社

笙歌亭

之冠とはさるるふの節、十三夜

和風

・ ちんちん 約束らき 浮の月 全 執中葺 一惟



名月

波流るる

天口あがも後月

之名執

浪貫

名月 月の中

瀧東

ささるる

うんさて





梅の雪

桂の雪

後の月

友國



全
吾羽の舊例

全
唐人の志

全
難兵齋
賢已

全

全

門
里英

流
の
心
の
響
か
る
か

